



# すみれ通信 6月号

すみれ通信は、医療・介護に携わる方に  
発信しています

（第120号）

〒 251-0032

藤沢市片瀬339-1

藤沢市医師会館

在宅医療支援センター

TEL 0466-41-9980

FAX 0466-41-9981

✉ fuji-zaitaku@movie.ocn.ne.jp



**在宅医療支援センターは、2025 年 4 月より  
市民からの在宅医療に関する相談を直接  
受け付けるようになりました**

市民から直接相談を受け付けることについて、様々な  
場で広報して参りました。おかげさまで少しずつ相談が  
増えています。多岐に渡る相談内容の一部を紹介します。

## 【市民からの相談内容】

訪問診療してくれる

医療機関を

教えてほしい

訪問リハビリ

について

知りたい

訪問診療にかかる

費用について

知りたい

一人暮らしでも

訪問診療を受ける

ことができますか

介護している妻が

急に病気になり

困っている

今入院中

在宅医療を受けたい

どうしたらいいのか

在宅医療支援センターは、これまで培ってきた市  
内医療機関や関係機関の皆様との連携情報を土台に  
して在宅医療に関する幅広い相談に対応できるよう  
努めて参ります。

市民から寄せられる相談内容は、藤沢市内の在宅  
医療を推進していく上で貴重な情報になりますので  
今後もお知らせしていきます。

## 第 1 回 市民公開講座のお知らせ

### 「認知症の方に寄り添う在宅医療と看護」

日時 6 月 28 日（土）10～11 時半

場所 藤沢市役所 本庁舎 5 階 5-1・2 会議室

講師 つながりクリニック共同院長 竹島 望

ナースであんしん湘南 管理者 大慈 めぐみ

## 在宅の言語聴覚士（ST）について

株式会社ぐるんとびー

ぐるんとびー訪問看護ステーション

言語療法士 植松梓



（言語聴覚士 伊藤まりえ・植松梓）

言語聴覚士は、「話す」「食べる」といった生活  
に不可欠な機能に関する困りごとに寄り添い、支  
援を行う専門職です。

当事業所は 2 名の ST が在籍し、医師の指示の  
もとご自宅に訪問し、専門性と個別性を重視した  
リハビリテーションを提供しています。

例えば、好きな歌でカラオケ練習を行う、アルバ  
ムを見て家族の名前を呼ぶ、電話やメールの練習  
をするなど、ご本人が主体的に取り組める目標を  
設定し、意欲を引き出す関わりを大切にしていま  
す。会話ノートの作成、コミュニケーション機器  
の選定など AAC（拡大・代替コミュニケーション）  
の提案や導入にも対応しています。

特に失語症は、専門的な言語療法と併せてご家  
族や通所施設との連携を図ることで、発症から時  
間が経過していても改善が期待できるケースも多  
くあります。

また、「生きがい支援」にも注力し、その人らし  
い暮らしの実現を目指しています。摂食に関しても  
たとえ医療機関で経口摂取が難しいと判断された  
場合であっても、ご本人の希望があれば、主治医  
や多職種と協議し、安全に食べられる方法を共に  
模索する支援も行っています。姿勢や呼吸を整え  
ることで吸引回数が減少し、再び味わう喜びを得  
られた方もいます。「おいしい！」と心が動くその  
瞬間に立ち会えることが、「食べる」に携わる専門  
職として何よりの喜びです。

### 《連携するうえで課題と感じていること》

退院後に ST の支援が途切れるケースや ST の  
必要性が関係者に上手く伝わらずに、支援が遅れ  
ることがあります。地域での ST 不足やその専門  
性に対する理解不足が課題です。今後は ST 自身  
が地域の相談窓口として積極的に情報を発信し、  
より予防的な支援体制の構築が求められます。

### 《今後の取り組み》

令和 7 年 2 月より、医療的ケアや発達支援が必  
要なお子様を対象とした  
放課後等デイサービスを  
開所しました。

今後も、子どもから高  
齢者まで、誰もが安心して  
暮らせる地域づくりに  
貢献してまいります。

